京城新聞

妄言妄評 (三)

栗齋生

▲桂内閣は財政整理、對外政策の刷新を標榜して起てり、吾人は對外政策刷新の標榜に向て歡迎したり、我が對外政策の振はざるや久し、吾人は殊に滿韓の經營に於て最も振はんことを切望したるなり、桂内閣の成立と共に統監府の方針に多少の變更を來たすと共に活氣を帶び來るべしと期待したりき、何ぞ圖らん、待ち設けたる新郎は來らずして稅吏は來れり、麵包を要求して石を與へられたるの奇觀を呈し來る、民長官選令の突下は殆ど此觀なき乎

▲或者は統監府の邦人に對する態度を以て桂内閣の對外政策刷新とは斯の如きもの乎と憤慨するものあり、對外策の刷新とは海外在留邦人を侮辱するの謂かと極論するものあり、斯る極端なる論は採るに足らざるも、在留邦人を尊重せざる對外策は失敗に終るなり、官憲の權力によりて在留邦人を威壓して官憲の施設を謳歌せしめんとするの政策は終に失敗に歸するなり、在留邦人の輿論を容れずして官憲任意の行動を取りて之に強て從はしめんとする政界は失敗に終るなり、

▲官民一致して對外經營をなさんとすれば宜しく民間の輿論に聽かざる可らず、之れ各國が專制政体を擲して代議政体に革むる所以なり、此道理を解することを得ば官民の一致融和は容易なり、然るに官憲者流の考は人民を壓伏して自己に從順ならしむるを以て官民一致と誤解せるの傾あり、斯る政策は舊幕時代に於て行はれたり、明治聖世の御代に斯る官憲萬能は行はれざるなり

▲民團議員は連袂して辭職せりと聞く、之れ事情止むを得ざるなり、自治の能力なしとまで御用紙に罵られては誰か發憤せざらんや、兎に角今回の民長官選令は全く平地に波瀾を惹き起したるなり、民間新聞の反對も民團議員の辭職も皆好でなすものにあらず、此問題たるや唯々諾々默從すべきものにあらず、之に反對するもの決して無謀と云ふ可らず、民團議員が撤廢の請願書を呈出するも至當なり、新聞紙の之に反對するも至當なり、而して之を壓迫して沈默せしめんとするは非理なり、

▲或者曰く、統監府が之を撤廢せずして民團議員の請願書を却下せしは好し、然れども唯故なく却下するは非なり、聲言する如く官民一致融和せんとならば、撤廢すべからざる理由を懇談して可なり、唯御用紙に挑戰的記事を掲げしめ自治の能力なしとまで侮辱するを要せんや、斯くても官憲側は官民一致の誠意ありや、大に其心事を疑はざるを得ずと、之れ穩當の論議なり、而して邦人の多數ならん乎、然り若し官憲側に官民一致の誠意あらば發布の當時居留民の重立ちたものに協議して可なり然るを寢耳に水の如く突然發令す、平地に波瀾を起せりと云はずして何とか云はんや、

●東洋愛國婦人會趣旨

同會組織のことは前號に記せし如くなるが其趣旨は左の如し

東洋愛國婦人會趣旨

大凡天地之間に萬物が生ける中人が甚だ貴物也天と男子は陽地と女子は陰なり陰陽が合せて五行と四時と三綱五倫が行ふ此れが一定の理である故に國があれば百姓がある家があれば家族がある人が團体なれば社會と稱し國を愛し君に忠し父母に孝し全國同胞を親族と如く相愛して國家上の義務に先づ從事する事が國民の資格なり彼の世界列強の開明進歩と國富民強になす事は總て愛國思想より發生する也豈男女の區別なし大抵文明と云ふものは學問智識にて精神を培養し國家を共濟する事にあり昔太姒閨門内德化を以て周(國名)八百年基礎を鞏固し格公の夫人貝子は子息孟子を三遷に敎へて亞聖となり張孫夫人は君に直諫して唐の政治を振ふ事ありこれ女子は學問が不足の爲め男子の壓制を受く活動も自由を得ず豈愛惜せるに非ずや嗚呼是の時代に當て以前腐敗なる舊慣と依賴思想を棄て實地上の學問と愛國心を培養して國家の一分子義務として歐米列國と同等になる事を望む現に西洋にては英國に女皇が政治を一新に改良の爲め地球上に文明國となり東洋にても新羅國に宣德汝來朱德爾と陳德汝朱勝萬二人御君の德化と政治が三韓の第一になり此に欽仰する事然し有志同胞が各々社會と學校を擴張して人民の智識が日々に進歩しつゝあれども未だ程度が高等に及ばず我々本會同胞諸人は時局大勢を參考し團會を協成して所謂東洋愛國婦人會と稱し忠愛慈善敎育殖產等を目的として此れに仰佈也東洋の有志婦人は同報相應して補益相勸し本會主旨を贊成して國步を開進し我が皇室平安同胞姊妹が誠團共濟して彼の泰西人と同等になるのみならず東洋全局の光明である其の意廣大美志也

隆熙二年八月 日

發起人

副總裁 庶務部長 會長 副會長 敎育長 會計部長 評議長 總務 殖產部長

趙東潤母 李氏
李海昌母 徐氏
李址鎔夫人 李玉卿
李載克夫人 趙氏
權重顯夫人 權厚子
鄭基益夫人 金氏
李采淵夫人 裴氏
金定植夫人 任氏
鄭基奎夫人 申國軒
鄭勤朝夫人 鄭松江
李寅復夫人 金仁卿
劉秉徹夫人 金守松
朴永默夫人 朴誠子
趙重應夫人

●江界便り

若松生

前略錦地を六月十五日發足途中平壤へ一泊し安州寧邊新古里を經て熙川へ着し同地へ二日間滯在漸く同廿九日無事着任仕候途中道路の險惡なりしは實に豫想外にして頗る閉口仕候京城附近の道路に彼是と小言を云ふは罰が當り可申候呵々

當地に在る官衙としては五十二聯隊第三大隊を筆頭に憲兵分遣所、警察分署、駐劄衞戍分院、財務所、郵便局等にして各相當に賑ひ居候又た居留民としては目下男卅七八女十三人にして各自相當の職に就き奮闘的活動致し居る有樣を目擊しては何となく心強く感じ申候

當地郵便局は三等局なれ共位置が厚昌慈城中江鎭等の各郵便取扱所の中央に有之候事とて隨て其の事務の繁忙なるはお話しにならず候局員等は午前九時出勤して午後十一時頃迄は間斷なく劇務に鞅掌しつゝ在り是にて如何に多忙なるかは想像せられ候

米及び副食物としては野菜、鰻、鷄、すつぽん、はる等有之候是れ等韓人の供給に係るものは頗る安價にて便利に候へ共其他の品は邦人の商家に供給を仰がねばならず候醬油一升八九十錢ビール一本五十錢酒一升一圓砂糖一斤二十二錢味噌百匁十四錢福神漬一個四十八錢位にて其の高價なには殆ど閉口罷在候云々

小說 新不如歸 (七十五)

篠原嶺葉著

敏男は太く失望の體で、

「阿母樣が其程御立腹なさるに就ては何か此度の事に就いてお氣に障つた事があるには相違ないですが、何を云ふにも私の留守中に起つた事で、奈何云ふ事情で離緣したものだか母から本の大畧を聞いたばかりでまだ詳しい事は知らないですが、しかし私は母が何と云ひませうと百合さんか那樣事をする女で無い事は飽くまで信じて居りますから、これには何か仔細のある事に違ひないゆゑ、阿母樣なり百合さんに逢つて其の眞相が承はりたいと思ふてまだ參謀本部へ顔出しもせずに飛んで來たと云ふ理です貴方は定めて阿母樣から口留されてお出でになるでせうからそれを無理にとは申しませんが、た差支が無いならば、どうぞ何方へお出でになつたのか、それだけお聞せを願ひたいもんです。」



「眞個貴方には何の恨も無いのですからお知らせ申したいのは胸一ぱいですけれど其處が浮世の義理で母から堅く差留られて居りますゆゑ、必ず惡く思はないで下さいまし、百合さんは貴方の母機と足柄のために言ふに言へない心配した爲めとんだ疾病に罹りまして、實は其養生に或處へ母と一緒に參つて居るのでございます。」

「いゝ、百合さんが病氣ですつて、して病氣は何ですか。」

「何と云ふ事は申上げかねますが左に右不治の重病でございますから到底一命は危ふからうかと存じて居ります、ですから母が立腹致しますも滿更無理では無いのでございます。」

敏男は不治の重病と聞いて非常に驚いた容子で、

「然う云ふ重病に罹つて居るのなら猶更逢つて言ひたい事も談したい事もあるのですが、しかし私の知らぬことゝは云ひながらも表面離緣爲た事になつて居れば云はゞ赤の他人ですから馴々しく來られた義理ぢやないのですけれど、今もお話するやうに私は百合さんが道ならん事をする女でない事は百も承知二百も合點してるのですから、假令甚麼故障があらうと元のやうに今一度歸つて來て貰う意で來たのですが、然う云ふ重病であつて見れば何より早く病氣を治す方法を爲なきやならないですが、御容子は如何でございませう。」

と全く自分の妻であるかのやうに尋ぬるのである。

「少しは宜しい方だとは申して參りましたが病氣が病氣ですから些とも當にはならないのでございます。」

「ではもう何にも聞かして下さいとは申しませんが私を氣の毒だと思つて下さるお心がありますなら、せめて私の心中を書面に認めて病氣の見舞も述べて遣りたいと思ひますからお慈悲に其の書面だけお取次を願ふ理にはいかないでございませうか」

椅子も深く敏男の心中に同情を表し、

「貴方から頼まれたと申してはお取次も能かねますゆゑ匿名になすつて百合さん宛に郵便でお出し下さいましたら直に私からお届けする事に致します。」

「では、どうぞ何分宜しうお願ひ致ます。」

とやがて敏男は失望に失望を重ねて我が家へ歸つた。

大人氣なき統監府

〔京城新聞〕

保護協約締結せられ統監府を設置してより既に三年、其間に於ける治蹟は見るべきものなきに非ずと雖も、多くは皆其端緒にして未だ全く効果の現はれたるものなし、就中帝國の對外政策に於ける骨子とも云ふべき殖民上の企圖に至りては何等發展の見るべきものなし、當局者は韓國の指導啓發を先にし、大陸政策の根本たる殖民經營を後にせんとするもの丶如し、之れ謬れるの甚だしきものなり、大陸政策の扶植は韓國の指導啓發なるも、極東平和の根基なり、先に韓人を啓發し之を自覺せしめんとするは誤なり、多數の邦人を移殖し之を韓人に接せしむるは指導の捷徑なり、然るに當局者は政治上より專ら指導啓發せんとせり、素より政治の改革も必要なり、然れども之が爲に殖民經營を後にすべきものに非ず、兩々相對して併行すべきものなり、當局者は此點に於て其政策を謬れるもの丶如し

熟ら〳〵統監政治の現狀を見るに韓國に對する施設は種々着手せられ居るも、在韓邦人の發展に就ては未だ確たる方針すら定らざるが如し、而して地方の狀態を顧れば統監政治の大障碍たる暴徒は未だ全く鎭定せず、尙ほ北韓方面は勢ひ猖獗なり、殊に國境外の暴徒は其地移住の韓民と聯結して時々侵入し來る、其中には歸化人も混交し居れば國際問題を惹起するの憂あり、間島問題は尙ほ決せざるのみならず、淸國政府は强硬なる抗議を申込み來れりと云ふ、統監府が處分すべき大問題は眼前に横れり、今は徒に懷柔策にのみ汲々たる時に非ざるなり、此多事の際に於ては余輩の曾て唱導したるが如く、官民一致融和して帝國の大陸政策に貢献し、其殖民經營をなすと共に韓人を指導啓發し、極東に於ける禍亂の根を斷ち永遠平和の基礎を築くべきなり

然るに輓近統監府は突然民長官選令を發布し殆ど平地に波瀾を惹起せり、統監府は民長官選を以て官民間の衝突をも顧慮せずして强行すべき大問題となす乎、是れ思はざるの甚だしきものなり、在留邦人に取りて素より權利の消長に關する問題なれば唯々默從する能はざれども、統監府にては民長官撰に非ざれば帝國の對韓政策を遂行し能はずと云ふの理由なし、然るに在留邦人の輿論には毫も耳を傾けず一意之を執行せんとする態度を示せるは余輩の解する能はざる所なり、今や爲すべきの大問題は目前に迫れり、斯る際に於て民長官選の如き比較的小問題を以て在留邦人の反感を買ふは餘りに大人氣なき仕打なり、余輩は統監府が斯る非常識的行動をなすの理由奈邊に存するかを解するに苦しむなり、統監府は宜しく大積以て府令の撤廢を爲し、誠意以て帝國の大陸政策に盡瘁すべきことを余輩は呉々も勸告するものなり

〔東京電報〕

▲米國艦隊歡迎

米國艦隊來邦に就ては海軍省主任として歡迎事務を取扱ふ事となる

▲加奈陀の同盟罷工と邦人

加奈陀大平洋鐵道會社ストライキの結果本邦の勞働者代りて就業しつゝあり

▲韓太子の旅程

韓國皇太子には伊藤太師同伴にて十日新橋を御出發橫須賀に向はせられ同地より軍艦滿洲に御搭乘十二日呉港に御着夫れより宮島舞子宇治岐阜等を御巡廻あらせらるべき旨御指定相成りたり御旅程往復二週間の豫定なり

▲出齒龜の公判 本日開庭せられたる出齒龜の公判は檢事無期徒刑を求刑し辨護士は無罪を唱へ十日に判決を下す事となる（以上七日發）

〔雜報〕

●臨時參與官會議 昨日午前八時副統監列席の上倉富、小宮、岡、俵、荒井の各參與官參集何事か議する所あり十二時散會したり

●副統監の訓示 副統監は明日各道警察部長を統監邸に參集せしめ一場の訓示演說をなす筈なり

●副統監招待延期 仁川有志家諸氏の催に係る副統監招待舟遊會は都合に因り延期せられたりと云ふ

●民長官撰問題に對する各地の輿論

民長官選問題と元山臨時民會

民長官撰問題に就ては各地共非常に激昂し種々なる方法を以て活動を始めたるが平常太平無事の時に在りては音無しきこと猫の如く柔順なること羊の如く穩健篤實なる元山居留民も一朝大事に遇へば猛然として肉薄し奮然として蹶起するは從來の例に於て證明せる處なるが今回の民長官撰問題に就て如何ぞ沈默し居るべき過日來より寄々協議中なりしが遂に去る一日午後四時より臨時民會を開き民長官撰制反對の決議を爲し即日建白書を統監府に送致したり

民長問題と元山（元山日報所載）

今回の民長官撰問題に就ては各地共等しく激昂を重ね居れるが他の平壤京城仁川釜山等は尙は現任民長の任期滿了までには一年なり二年なりの餘裕を有せるが故に差當り其の影響を受くる處なしと雖も我が元山は生憎民長缺員中なるを以て何時此の影響を浴びせ掛けらるゝやも知れず隨て平常比較的音無しき當民會議員も別項の如く遂に蹶然として奮起するに至りたる次第なるが凡そ穩健篤實なる元山民會議員にして此の蹶起を餘儀なくせしむるに至りしは實に新制がよく〳〵民意に投合せざる惡制たることを證するものと云ふべし今元山民會議員諸氏の本問題に對する意見を紹介すれば左の如し

▲夏目議長 改正制度は無論當を失したる惡制なり、素より此れ丈けの改正を爲す程なれば當局に於ても理屈と論據とは相當に有るべきも如何なる理屈も如何なる論據も要するに民團自治の異義を蹂躙したりと云ふことは爭ふべからざる事實にして既に自治の異義を蹂躙せられたりとせば居留民としては默して之れに盲從する譯に行かず先づ以て適當の手段方法を講ぜざるべからず云々

▲岡田議員 兎に角今回の改正制に就ては居留民としては必ず默して居らるべきことに非ず、例へ其の意見を容れられずとも居留民としては云ふ丈けの事は云ひ盡す丈けの事は盡さゞるべからず、即ち新制度に對する反對の意志は十二分に表示せざるべからず云々

▲木本議員 今回の改正は實に居留民を侮辱したる最も甚しきものなり殊に此の制度に依る所謂官選の民長と居留民の代表者たる民會との間に必ず現在の夫れに比較して不融和となり不折合となるは爭ふべからざることにして官選の民長が其の官選を笠に着てビシ〳〵遣つ付けらるゝに於ては夫れこそ居留民は堪つたものに非ず要するに官選の民長は民選の夫れに比して居留民に對する親切の度合が減ずるは免るべからざることとなるべし、新制は何とかして撤廢して貰はざるべからず云々

▲山崎議員 現今の制度でさへ相當に統監府には干渉せられつゝあるに若し官選民長とでもならば隨分と立ち入りて干渉を受くるなるべく居留民既得の權利を剝奪せらるゝ點より云ふも又自治体の本領より云ふも何れより見るも民長官選と云ふことは其の意を得ざることにして當局は何の必要に感じて斯かる改正を爲すに至りしかを怪しむ云々

其の他各議員共大同小異の意見にて要するに民長官選に對する元山民會議員の意嚮は其の反對熱の盛んなる決して京仁間の夫れに劣らざる有樣なり

仁川民團議員の意嚮

仁川民團議員諸氏は目下足立議長不在の爲官選民長問題に對し最後の意見を發表することを見合せ居る次第なるが同議長の歸仁も來る十二日頃なりとの事なれば其上にて全部議員の意向を確め堂々として反對の行動に出づべしと云ふ

仁川議員の內議

仁川民團議員諸氏は數日前左の如き內議を遂げたりと云ふ

一民長官選に强固に反對する事

一若し統監府にして民論を納れず强いて官選民長を置くの場合には民長の俸給を現今の一ヶ月二百五十圓を只の五十圓に減する事

一現民長富田氏へは豫ての約束の如く遠からずして辭職すべければ同氏に相當の慰勞金を送りて民團と同氏との關係を永遠に絶つ事

京城に民會無し（補缺選舉の有無）

京城民團議員の總辭職は既報の如くなるが何れ民長より理事官に向つて正式の報告を爲すべく而る上は首都の我居留地に居留民の意志を代表すべき民會の存在せざること丶なりたるなり尤も關氏一人は未だ辭職の手續を爲さゞるを以て此際其筋より議員の補欠選擧を民團に向つて命ずるや否やは疑問にして此疑問は來る十月に於ける議員總選擧前には到底解決すること無かるべしと云ふ

辭職議員の行動

今回總辭職の擧に出でたる京城民團議員諸氏の行動に付種々揣摩臆測を逞ふするものありと雖も本社の探知する所に因れば今回の擧たるや素より私心を捨て丶公事上選擧民に對する自家の責任を明かにするが爲にしたるものにして敢て殊更に好むで爲したるには非らざるもの丶如し

●議員と理事官

三浦理事官は昨夜和田議長を始め議員諸氏を理事廳に招き辭職其他の事に關し談話を遂げられたる筈なり

●赤十字社業擴張

日本赤十字社韓國委員部は從來各理事廳所在地に設置せられ居るが社業擴張上の必要に依り觀察府所在地にも必要に應じ委員部を設くることゝなりたるを以て曩に各道書記官會議の際鶴原長官（韓國委員總長）は一日各書記官を招き社業擴張上に關し親しく協議を遂げたるが今回內地以來赤十字社に關係厚き各道警察部長の來京を機とし藤田軍醫部長（韓國委員副總長）は大橋主事を隨へ本日內部の警察部長會議に臨み松井警務局長の紹介に依り日本赤十字社の現況韓國委員部增設の必要に關し一場の談話をなし委員部を設置し社業擴張の曉には韓國に於ける患者救療及天災事變救護等の實行をも期し度旨種々懇談打合せをなしたるが尙松井局長（商議員）よりも社業上に關し談話する所ありたり因に愛國婦人會東洋協會獎勵方をも藤田軍醫部長より依頼する所ありたりと

●黄海道の暴徒

今回海州警察署長より內部書記官に轉任を命ぜられ過日來京したる警視平渡信氏の談によれば黄海道の暴徒は巨魁辛景七韓景玉李蓬江李進士等何れも少きは百餘名多きは五百餘名の部下を率ひ本年一月頃は海州城內にも暴徒の出沒せし程にて集團の多きものは千餘名に達したる事ありて全道民悉く暴徒なりと云ふも敢て過言に非ざる程なりしも一月以來守備兵憲兵と共に或は討伐に或は歸順勸誘に努めたる結果辛景七の部下二百餘名を始めとし韓景玉は憲兵隊に李臺江は警察へ何れも歸順し其他歸順者續出し一面に於ては嚴重なる討伐により或は殪され或は捕へられ辛景七の如きは今や既に一人の部下なく踪跡を暗ましたるが或は滿洲に入りたりと傳へ或は江原道に逃れたりと噂せられ又は平山に潛伏せりと傳へられてさしもの一時猖獗を極めたる黄海の暴徒も今や全く其の跡を絶ち田舍の一人旅に差間なきに至り人民一般に堵に安んじ居れり而して歸順したる多數の暴徒も改悛の狀を示し毎月一回警察署に出頭して謹愼の意を表し且つ歸順者の保證人並に里長面長等より彼等の平素の行動に關し毎月一回の報告をなさしめつゝありて目下は極めて靜穩なり故に今後は此等歸順者の監督を嚴にして彼等をして正業に從事せしむる樣此れを導かば道內の秩序回復して永く平穩を保ち得べし尙目下海州に拘禁せる首魁六名あり就中鄭丙雲と呼ぶ一人は年齒四十體軀偉大にして學問あり前記の諸首魁を指揮しつゝありし總首魁にて六月中旬首陽山脈中二千尺の高處に假屋を構へ堅固なる甲冑を着して潛伏し居りしを發見捕縛したるものなるが自ら義將と稱し下級警察官には言語を交へず極めて剛復なる態度を示し居れり反之歸順したる暴徒は我官憲に對し極めて穩順にして今回同警視が轉任を命ぜられたりと聞き歸順者の重なるもの氏のために送別會を催したりと云ふ

●安東地方の狀況（續）

▲金融 安東に農工銀行支社の名義の下に貸金營業を開始し比較的低利を以て貸付け當地有力者に此れが監査を委託し居れり此は銀行營業の目的よりも寧ろ新貨流通を計る一の手段とも云ふべき有樣なりし然るに今回政府事業に係る安東地方金融組合なるもの組織せられたるを以て農工銀行名義の下に貸金營業をなしつゝありたるものは自然消滅の姿となりたり該組合の組織は一分八厘の利子を以て農工商の業に資する組員に五十圓以內を貸付くる方法となり居れり依て該組合に加入し金を借りて事業の經營をなすものあり斯る使法立ちたるため金融は緩和の狀態を呈するに至れり然れども僻地に在りては新貨の使用法を知らざるため有利なる該組合の金を融通する方法を知らざるが如き感あり僻地の民は取引には未だ葉錢を以て本位とし隨て葉錢と新貨との交換率高く一圓に付四百十文乃至四百二十文なり然れども勅令を以て葉錢の法價を公定せられ本月一日より實施に付警察は該勅令を一般人民に周知せしむると同時に市日等に於て該法價及び通用期限の勵行中なるため近來新貨の流通は著しく其の數を增し一般に金融組合の金を利用するもの其の數を增すに至り愈々金融は緩和の狀態に向ひつゝあり

▲教育 此の地方各部中日本人の往復頻繁なる地方は普通教育の必要を感じ文明的の學校を設けたる處ありと雖も頑固なる兩班は反て此れを妨げんとするの風あり又學校の設立を計營するものも獻身的此れを爲すものなく其の多くは利慾を目的とするものあるが如く從來の漢學に於ても規則的に此れが教授をなすもの稀にして其の設備不完全なるを免れず初學者も極めて僅少にして多くは兩班の子弟なり小民の子弟にありては八九歲より農業に從事し山野田畑に出で丶家業を助くるの外就學等は思ひも寄らざるの有樣なり

●地税減額地區

第四十一年度仁川居留地一部の地税を三割減額すべき事に決定せるは既報の如くなるが今其減額による同地區地税の計算を示せば左の如し

舊地税額	減額	改定地税
四、二四五、四〇〇	一、二七三、六二	二、九七一、七七

●女子普學會の紛議 永成門侍衛內に在る同學會は設立當時維持費として韓皇室より金二千圓と本年四月に金八百圓を下賜ありし爲め今日迄維持しつゝあるが今回同學會長たる金雲谷女と庶務係秦學眥と關係したりと傳へられて會長不信任問題起り會員の脫會するもの頗る多く現任會員は僅かに二十名に過ぎざるも會長排斥は益々甚だしく遂に六日に至り金會長は辭職するに至りしも同會は未だ紛擾中にありと

●眞瓜下賜 太皇帝には炎暑の勤務を思召され一昨日昌德宮、德壽宮、皇宮警察署係及內人（女官）承寧府、近衛隊、軍樂隊、騎兵隊、庭盥、扈衛隊等夫々眞瓜を下賜せらる

●趙農相の水原行

趙農相は中村農務局長と共に本日午前八時二十分南大門發の列車にて水原に赴き同地西湖の視察をなす筈なり

●仁川紀念決算審査

仁川廿五年紀念會決算審査も近日終了する筈なるを以て來る十五日午後六時半より富田民長は同會の爲めに盡せる有志者並京仁各新聞記者を八阪樓に招待し慰勞の宴を催す筈なりと

●仁川信用組合定款 仁川信用組合定款審査は一昨日終了したるを以て本日相談役に通知し後直ちに修正定款を添付し設立請願を理事廳に提出すべしといふ

●第一銀行の舟遊會 第一銀行京城總支店にては本日店員全部漢江に舟遊會を催すと云ふ

●明石村田兩少將 明石憲兵隊長、村田少將は既報の如く本日午前十時四十分發の列車にて出發の筈

●渡邊事務官の歸朝 渡邊內部事務官は四週間の夏期休暇を賜ひ明日出發歸朝す

●漢江立標地觀察

十五日島燈臺局長は漢江浮標設置個所調査の爲め當業者中田中爲之助を同伴し三日間の豫定にて出發の筈

公人私人

▲榊原昂造（築城本部長少將） 滯京中の所一昨日出發平壤へ向ふ

▲藤井愛親（憲兵大尉） 一昨日釜山に向ふ

▲秦豐助（長崎縣事務官） 一昨日下仁

▲岩井光五郎（平壤農場主任技師） 一昨日出京山本旅館

●近事片々

▲報德 會は今や社會の一勢力となる今夏は白砂靑松の明石に於て講演會は開かれた

▲會合 したる者岡田一木の兄弟を始め三井の早川住友の鈴木及新戸渡中島等數十人

▲二宮 尊德翁は斯會の祖也翁の一代は眞に報德主義を實踐したる者其遺訓今尙生く

▲最も 此報德主義を躬行實踐鄕黨を感化せし者は岡田一木兄弟の嚴父岡田良一郎也

▲岡田 良一郎は遠州倉眞村の人現に鈴木藤三郎の如きは岡田氏の感化を受けたる也

▲靜岡 縣に報德會の盛なるは全く良一郎君の勸誘する所良一郎は小二宮の面影あり

▲近時 成功者鈴木藤三郎も一日良一郎君の報德說を聞き感憤し駄菓子屋より崛起す

▲貧富 相和して財產生ずとは報德會の經濟策也故に社會政策として最も適切ならん

▲分度 推讓は報德會の綱領其勞働者と富者との融和を謀る所穩和なる社會救濟法也

▲勤險 貯蓄も亦一綱目也農夫は毎夜業繩五十尋乃至草鞋一足を造て貯蓄する規定有

▲公共 事業に應分の力を盡すも亦一綱目自然に公德を養成する好個の訓練法ならん

▲湯本 溫泉旅館主福住九造君も二宮翁の門弟規律正しく取締の嚴なる此主義に依る

▲岡田 氏の如く感化は廣からざるも等しく躬行實踐して能く四隣に感化を及ぼせり

▲近來 韓人間に婦人會設置流行し來る之を善用すれば可なるも一時の流行は非なり

▲慈善 感化等の事業は婦人の天職之を獎勵するは嘉すべきも社交に流るゝは不可也

▲婦人 會は兎角社交に流れて衣服裝飾の共進會的になり勝也之れ大に警戒すべき也

▲愛國 婦人會京城支部の如き此弊に陷入れる形跡なき乎敢て會員諸子の反省を望む

▲大阪 每日の韓國の治外法權論は最も時宜に適せる至論也當局者三省の價値ある也

▲京都 大學總長の兼任に就ては大分八釜しかりしも愈々專任總長も決定する模樣也

▲專任 總長候補には山川菊地澤柳の三氏呼聲高し此中最も適當なるは山川氏ならん

▲浦港 は愈々自由港撤廢と決定したるが如し併し露國の爲に却て不利益なるべき也

▲南烏 蘇里地方の殖民に高き物資を供給するは決して殖民經營の爲に得策にあらず

▲賣國 奴亦現はる等しく軍用秘密地圖を賣却せんとて發見せらる偖も厄介の奴共也

▲而が 身を軍職に置きながら此不埒極る事をなすとは爾後の取締を最も嚴にすべし

●五宮洞の慘事

温突の崩落▲三名慘死し一名負傷す

一昨七日短夜の夢猶ほ覺めやらぬ午前四時頃西署餘慶坊五宮洞四十四統一戶無職金定植宅の温突の天井崩落し三名慘死し女一名負傷したる慘事あり今其詳細を報ぜんに

▲慘死者　慘死者は家主金定植の長女金女(十一)次女(二年)及び同居人金召史(八十)の三名にして負傷者は金定植の妻劉姓女(三十九)最も

▲崩落の原因　天井の崩落したる原因は温突の屋根朽ち居りしを知らず今日まで修繕を加へざりし所過日の降雨にて屋根死やかて崩落し爲めに斯る慘事に及びたるものなり

▲場所の模樣　慘死者たる長女は紅色金巾の夏衣を着し本宅使令室の中央に西枕にして仰向きに臥し全身蒼白となり兩眼を閉ぢ四肢を伸ばし肛門より脱糞し居れり次女は麻布を着し南側に仰向きながら臥し金召史は同側に仰向きに臥し全身蒼白となり兩眼を閉ぢ四肢を伸ばし肛門より脱糞し居り何れも熟睡中に土塊等の重疊の爲め無慘の壓死を遂げたるもの其の悲慘なる狀況は酸鼻の至りにて劉姓女は横腹及び顏面に負傷を受けたるのみにて幸ひに生命を全ふしたるは不幸中の幸なりし

▲死体の處分　此急報に接するや西部警察署よりは警部醫師出張臨檢の上死体は戶主たる金定植に引渡されたりと

●韓人の强盜(一名の死者あり)

去月卅一日午後十二時より翌一日午前二時迄の間に犯されたる强盜殺人事件ありたり

▲被害者　被害者は龍山徳里四十九統十戶李明植(三十)同四十九統四戶善明俊(三十)及び同七十二統九戶金大鉉(三十)の三名なり

▲加害者　加害者は韓人にて服裝判然ならざれども各白紙を以て顏面を覆ひ人の心臟を寒からしむる長大の朝鮮刀を携へたる指揮者とも云ふべき者一名と外三名の四人なり

▲加害の狀況　李、善、金の順を追ひて危害を加へたるが各家とも垣を越へ刀を閃めかし金品を强奪したるものなり李は之を掴みし故刀脊を以て身体を何處となく亂打され創痕數ヶ所に及び出血多量にして爲めに白衣を絞る程なりしが李は遂に去る六日午後四時死亡したり檢屍に依れば毆打の爲め腦震盪を惹起し死したるものなりと

▲被害數　は李の分金八十圓銀貨耳一個(?)九十錢)外衣類二點、善の分は指輪一個(四圓)外衣類二十二點金の分金十六圓なり此の急報に接し現場に馳せ付けたる警察官の取調たるに朝鮮刀一個の遺留ありたる外何等手掛りなしと尚加害者の音聲は京城近邊の語聲なるより多分此の附近の者ならんとて直ちに警官を派し嚴重に探査中なり

●生活難が自殺の因

一昨七日午前一時三十分頃西部仁達坊司僕洞三十二統十一戶無職徐潤宅(四十)は自宅に於て阿片を服し自殺したり同人は四年前までは宮内府の官吏なりしも辭職後は何の爲すもなく日々徒食して暮らし居りしかば坐りて食へば山までもといふ譬への通り貯への財産も何時しか衣食の爲め費果たし今日に至りて生活に困難を生じ之れが爲め鬱々として悶ぎ居りしかば精神に異狀を來し斯る非業の死を遂ぐるに至りしものならん西部警察署に於ては此報に接し醫師と共に出張臨檢せしに死体は仰向きにありて顏面紫黑色に變し兩眼堅く閉ぢ少しく口を開き鼻孔よりは多量の出血をなし居り全く阿片を吸飲したる覺悟の自殺なりといふ死体は長男甲得に引渡されたりと

●痴情からの自殺(未遂)

西部里門洞鑑井洞居住酒商金魔學なるもの〻妻鄭氏(三十)は去る六日午後八時三十分自宅に於て阿片を服し自殺を企て苦悶中なりとの報に接し西部警察署より巡查出張取調べられしに鄭は金の妻と云ふも實は妾にて本妻は他にあるを以て本妻と妾とは痴情のことより言ひ爭ひ犬と猿との仲にて常に喧嘩の絶ふることなかりしが當日も午後三時頃嫉妬より口論を初め妾の鄭は酩酊し居れる金に向ひ暴言を吐いて狂ひかゝりしかば金も默つては居ず拳固を以て之を毆り付けたるに之を恨みてか午後四時三十分頃に至り持合せ居りし阿片を取出して服し自殺せんとせしも少量なりし爲め死切れず苦み居りし次第なると判りたれば直ちに戶田醫師の來診を求め應急の手當を施したれば生命には別條なかるべしと

●怪物長屋

今の世の中に何條怪物などのあるべき筈はなく變怪の業は何れ狐狸古猫の所爲ならんも兎も角左の投書の舞ひ込みたれば有りのまゝを記さんに西小門通りに韓人金某の所有し居る一軒の温突あり此の温突は總体七間にて今では五六組の夫婦住ひ居れるが唯不思議な事には長屋中常に病人の絶へたる事なく一人が癒れば他の者が枕に就くといふ始末に長屋中の或る詮索家は何んでも此れは謂れ因緣があるに違ひなしといろ〳〵と家屋の來歷につき取り調べたる所元此の家屋の建ち居る所は屠殺場にて牛や馬や豚などを一日に何十頭と無く屠殺せしかば多分其の亡魂の怨みが斯く長屋一同の者に祟るならんと略ぼ鑑定つきしかば長屋の者の誰れ彼れは申し合はせ「牛豚勿祟」てふ貼紙を其の入口の柱へ貼り付け中には其の貼り紙の前へ種々の供物などを備へて專ら病人の絶ふるやう念じ居りしが又々不思議な事には右の供物が翌朝になるとスッカリなくなって仕舞ひ何者が引いて行くのやら一向分らざるより長屋の若者はハテ怪訝な譯と近頃は三四人づゝ夜番をなし化物の正体見屆け呉れんと手に手に棍棒やら仕込杖を持ちて待ち構へ居る有樣なるが、ツヒ二三日前例の如く二三の若者が今か〳〵と許り腕によりを掛けて化物の來るを待ち設け居りしに案の條長屋の彼方に當りて一匹の動物現はれ爛々たる兩眼いからして此方を睨め今にも飛び掛らんとする恐ろしき權幕なるより若者等は一同勇み立ちソレ怪物が現れたと許りに立ち上り己れ逃しはするものかと右の動物を追ひ駈け追ひ詰めたれど終に何れへか逃げ去りたりとかの事なるが察する所其の動物は多分一個の黑猫ならんといふ

●警察署へ送金方を

願ひ出たるは三重縣生れの九鬼善太郎(三十)と云ふ人好なり善太郎は國元に計り燻ぼりては世の中に顏出しが出來ぬ聞けば朝鮮は金が天から降つて居るとか一つ京城に渡り一儲けして遣はさんと善太郎さんだと友朋輩に誇せたしとの途方もなき野心を抱き去月二十五日生れ故郷を跡にして鳥も通はぬ玄海を夢の中に過ぎて釜山に上陸し直ちに連絡列車にて京城に着せしは三十一日の午後八時三十分にて其夜は途ある宿屋に泊り翌日よりは金の拾ひ物せんと此處其處と歩いて見たれど躓くものは小石計りにて金の音どては一もせずそうこうする内所持の七圓も遣ひ果して跡に殘るは綺の財布が一つと我身ばかり思へは矢張り元の百姓がよかつたと悔いても歸らぬ繰言然りとて電報にて國元より金を取寄せんと思へど電報料もなき始末に宿よりは宿料の督促嚴しく絶体絶命は警察に縋るより道なしと考へ付南部警察署に出頭し右の次第を訴へて送金し呉れる樣國元へ電報御發し下されたしと願ひ出たれば詰合の警官は電報料を持參せば電報を發して遣はすと諭されしも電報料の調達出來ず金がなければ宿にも歸へれずと云ふ場合になりたれば何卒浮浪罪に處して下さいと身を捨て願ひ出たるにぞ警官は其不心得を懇々說き諭して歸されたりと一攫千金を夢見る連中には好い見せしめなり

●阿呆鳥の行衛

昨日午前六時十分頃第一樓本店より色の淺黑い三十前後の男麥稈帽子に白絣の浴衣豆紋の兵兒帶を結び例に依りて狸女郎に門前迄見送られ意氣揚々として日の出町を過ぎ井門樓の横より巴城館の前を右に折れ本町通りに出で同町二丁目文林堂にて雜誌を購ひ理事廳前の小路を横切り電車通りを一直線に南大門停車場待合に入りたるが此奴三面子の尾行を感付いたらしくソレより待合所を出で龍山行の馬車に乘りたりしが途中にて下車し今度は南大門通りより明洞に出で南山町二丁目田中常次郎氏の貸家武藤某の下隣りのトタン屋根の豚小屋見た樣な家に入りたり名は秘し置かんも何れ阿呆鳥の三面製造の鼻下長連なるべし

●人車衝突して硝子を破る

一昨日午後八時頃西部司濕洞統戶不詳金何雲(七十)は客を送りての歸途空車を牽きて悠閑として本町二丁目四ヶ所商店前に來懸るや向ふより永樂町二丁目統戶不詳高敬植(五十)が客を乘せて威勢能く驅け來るを見てコワ大變と避る間もなく衝突したるより甕忌々しい俺れも衝突して呉れんと見事に梶棒を四ヶ所商店の飾り棚の硝子に衝突したれば思ひ通りに硝子は破れたるも此方店員に於ては大に立腹し不都合千萬な奴と早速兩名を警察署に訴へ出でたれば取調べの上双方五十錢宛を賠償せしめ事濟みたり

差押保證金
訴訟印紙料

凡て訴訟費用便利御用達可申に付精々御利用被成下度候

京城長谷川町一丁目和泉法律事務所隣　坂本兵太郎

●浮浪人拘留

長崎縣下縣郡嚴原大水橋町百四番地平民無職中村勝次(三十)は去る六日午前三時頃樂峴の空屋に寢臥し居るを西部警察署巡査認め取調べたるに何等の職業なきを以て浮浪者として拘留十日に處せられたり

●流行病

明治町三丁目百十七番戶松岡初太郎及同人の長男定(四つ)は赤痢に罹り七日青坡病院に入院初太郎は入院後死亡せり

●鐵道技手の腸窒扶斯

龍山鐵道官舍第十號の三戶技手戶川久(三十)は一日發病六日午前十時腸窒扶斯と診斷され同日鐵道管理局龍山避病舍に送らる

●鐵道鐵工の赤痢

龍山鐵道官舍第一合宿第七號藤村三郎(三十)は去る三日發病し六日午後七時赤痢病と診斷され同日鐵道管理局龍山避病舍に送らる

待合　春日

本町一丁目北裏(支那領事館前)

●盂蘭盆會

本日より來十一日まで陰曆盂蘭盆會に相當するを以て南山本願寺にては本日より十一日まで三日間左の時刻に依り讀經及び說教ある由

午前六時　午後二時　午後八時半

尙漫遊の爲め目下來京中の平川學師の說教ある筈なり市中に於て初盆の所も少からざれば靈祭等夫々盛んに催さるべし

●本日の精神界

旭町名古屋城なる日本メソヂスト敎會にては午前十時より「榮の望」村田重次氏及び午後八時より「我往くは汝等の益なり」に就て同氏の講演あり又日の出町の京城クリスト敎會にては午前九時より「ヨナの敎訓」なる題目の下に牟田熊彥氏の講演あり次に又長谷川町の本派本願寺は午前八時より鎌田開敎師の「日本人の布敎」なる講演ある由なり

●ビール賣出の好況

サッポロ、ピースビールの大賣出は非常の好況を以て既に第一回(一千六百六十箱)及び第二回(一千六百六十箱)を賣盡し第三回も餘す處僅少なりと云ふ何同第二回賣出の抽籤は來る十日和城臺に於て擧行第一等景品第一回と同じく金二百圓なりと云ふ



●各種縮緬兵兒帶

今回上野國桐生町大和屋呉服店が上州縮緬の聲價を向上せしめんが爲に模範的製造に係かる各種縮緬兵兒帶は糸質精撰の結果從來の觀光縮緬に比し數倍の耐久力を有し体裁殊に優雅なりと云ふ猶地方顧客の便利を計りはがきにて注文せば引換小包にて送品す詳細は本日の廣告欄を參照あれ

●特効藥の新發見

たむし丸一名ヶ月丸は醫士伊藤助先生が廿年間の久しき苦心の結果內服藥としてたむし、いんきん、しつを全治せしむる珍らしき內用藥として一度全治したる時は再發する患ひなしと今回東京市日本橋區浪花町(浪花局隣り)龍文堂藥舖にて發賣せしが非常に賣行よしと云ふ

暑中御見舞　編輯小僧

醫者さま方へ

素人の眼には醫者樣とは金が儲かつて立派な家に住んで奇麗な衣物を着てさも氣樂さうに相見え候も土地で一か二かと評判さるゝものを除くの外は甚麽して內幕は苦しきものにて中にはピイ〳〵火の車の家も少なからざるとか拜聞いたし居り候が併し昨今の如く時候惡く傳染病の流行る季節にありては又ナカ〳〵に實入りの有之候事と奉推察候古より醫業は仁術なりとか言ひ傳へ居り候も幷は昔の事斯う社會が忙はしく相成候ては甚麽して飯も喰はずに仁術のみを施す譯には參らず候も又當世の所謂藥九層倍の思ひ切つた遣り方も餘りに不當に候はずやと愚考被致候さは申せ一年一度の實入り時此の機を逸せずドシ〳〵御儲けなさるが却つて得策にて又當世向かとも被存候敬具

電話開通　四八八番　鐘路　精成組

●天氣豫報(自八日午後六時至九日午後六時)

北又は西の風曇

八日午前六時各地氣象概況

穩にして一般に快晴なり

廣告

木戶錢いらず

觀覽券

●特等　金七十錢　●一等　金六十錢

●二等　金五十錢　●三等　金三十錢

伊東文夫一座

旭町歌舞伎座

●每日午後六時開幕



株式會社第一銀行第廿四期營業報告

負債に屬する分	
資本金	一〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
積立金	三、二〇〇、〇〇〇、〇〇
韓國支店積立金	四〇〇、〇〇〇、〇〇
韓國支店新築費積立金	二〇〇、〇〇〇、〇〇
定期預金	一五、二二〇、〇五一、三四
當座預金	二三、〇九八、九九六、一六
公金預金	三、七三八、八七五、一一
諸預金	三、四七九、七三二、二三
仕拂送金手形	一四三、六七六、八〇
借入金	五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
他店より借	八〇二、三二〇、四一
銀行券流通高	八、三五二、七四九、九〇
未拂配當金	二三九、七五〇
前半期繰越金	四四七、九五七、九五
當半期純益金	九五九、六八七、八五
合計	七五、〇四六、四四七、二五

資産に屬する分	
貸附及當座預金貸越	一〇、五三四、一〇一、四一
韓國政府諸貸出金	八、一五二、三四九、二六
割引手形	三三、四一二、五三〇、二二
荷爲替手形	一、〇〇七、五八三、三四
國債及地方債證券	七、〇九五、一七三、七五
株券及社債券	三、四一五、七三九、四〇
未拂込株金	一八八、〇〇〇
他店へ貸	一、〇五三、二三四、二四
地所建物什器	一、六一八、八三九、九七
新築費	三一三、六四八、五四
地金銀	一四四、四五五、七一
預け金	五五七、八九八、六七
金銀有高	七、七二二、〇一二、七四
合計	七五、〇四六、四四七、二五

利益金勘定	
當半期純益金	九五九、六八七、八五
前半期繰越金	四四七、九五七、九五
合計	一、四〇七、六四五、八〇
內	
役員賞與及行員恩給基金	四七、九八〇、〇〇
積立金	三〇〇、〇〇〇、〇〇
韓國支店積立金	一〇〇、〇〇〇、〇〇
舊株配當金(年一割)	二五〇、〇〇〇、〇〇
新株配當金(年一割)	一七〇、〇〇〇、〇〇
後半期繰込金	五三九、六六五、八〇

明治四十一年八月四日

東京市日本橋區兜町一番地

株式會社第一銀行

頭取　澁澤榮一

取締役　三井八郎次郎

取締役　佐々木勇之助

取締役　熊谷辰太郎

取締役　土岐僙

取締役　市原盛宏

前記の各項調査を遂げ其正確なるを保證す也

監査役　日下義雄

監査役　尾高次郎

追而取締役監査役任期滿了に付改選候處取締役土岐僙を監査役に監査役日下義雄を取締役に更任せしむる外總て重任す

老妓 茶羅次の身上話 (九)

◎桂さん等に冷評さる

すると菊五郎さんがソウかといつたなり追つ掛けては聞きませんかつたが急に思ひ出した樣にれちやつぺ俺んどこの湯に這入つて見ねお茶敵に溫まる宜い湯だぜと無暗とすゝめるので何の氣も付かすちやあ一風呂頂きましようがと湯殿に參りましたが流石に凝り屋とまで評判を取つて居る程あつてイヤ其奇麗な事ッたらありません宜い心持になつて上つて來ますと菊五郎さんは待ち兼ねて居たといふ樣子でしたが妾を見るとヤイれちやつぺ手前白粉をつけ無ねなんて嘘ッぱつちばかりいやアがらア夫れ胸から上を見ろ藥湯の効能で白粉が眞つ黒に燒けてるぢやあないかといはれハッと氣がついて懷中鏡を出して見ると成程白粉燒がして居るのでしようカアーッとなつちまいまして其時は全く穴でもありやアと思ひましたわ

現今でも白粉をつけてるだらうとれつしやるのですかイヤ飛んでも無い色情狂ぢやあるまいし此年になつてソンナ眞似は出來やしませんワ然し先達は田中屋さんが厭といふ程此顔に塗りましてすが酒落とは謂ひ條氣がさしましたね

吉原に居りました頃は御存じの仁輪賀といふものがムいましたから夫りやあ隨分飛び放れた馬鹿氣た事を平氣の平左でやらかしたもんですが新橋へ參つてからはトント左樣眞似を致しませんから……仁和賀といへば昨年久々で催されたやうですがありやあ年々やつてれ貰い申したいと思つて居ますのさ烏渡御覽になつたのぢやあ只れ笑いになるばかりで何だ馬鹿々々しいあんなもの位稽古も糸瓜もいりそうな筈が無からうと思召しませうがあれで居てナカ／＼六ツ箇敷もんでムいますよマア一ツの仁和賀を拵へ上げ樣となると其仁和賀の組み合せで淨瑠璃が出る事もありや又淸元が這入る事もあり又長唄常磐津で往く所もあるといつた樣な鹽梅で所作にしたからつて其通り皆夫れ／＼専門の師匠を招んで來て稽古をして貰うのですから骨が折れますさあ其稽古も妾達が居た頃は師匠が三度しきや演つて見せませんから覺の惡いもんなんと來た日にやあ夫りやあミジメでした其樣り誰にしたからつて一生懸命になりますから自然と修業になる勘定で吉原の藝妓の腕を上げるのは此仁和賀がある爲めといつても宜い位なもんですからね

此りやア話が飛んだ横路に這入つちまいまして相濟みませんデは愈々妾が白粉コテ塗神の名者細工、淺草の活人形ソッチ除けといふ話の本題に掛りましよう……と前口上では大層らしふムいますが演つた事は極く下らないのでありますが……

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月金拾錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲特別
廣告五號活字十九字詰一行金五十錢
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太
發行所 京城西小門通 京城新聞社 電話六六三番